

広報ふたば



【表紙写真】謹賀新年・・・家内安全を願って（上羽鳥の奉納神楽）

新たなまちづくりによる復興を

双葉町長 伊澤 史朗



令和2年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、町民の皆さまのご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故による全町避難から、9年目を迎えました。元号が平成から令和に代わり初めての新年を迎え、一部の先行避難指示解除の決定により、新たなまちづくりによる復興への決意を新たにし、より一層気を引き締めながら町政運営に努めてまいります。

昨年は、令和4年春頃の避難指示解除に向け特定復興再生拠点区域内

555ヘクタールの除染や建物解体が進むとともに、農地の除染も始まりました。除染後の保全管理、営農再開に向けた取り組みもスタートし、双葉町の基幹産業である農業の再生に向けて前進した年でもありました。

本年3月には、常磐双葉インターチェンジの供用開始が予定されるとともに、JR常磐線の全線開通に合わせて東西自由通路を備えた双葉駅舎が完成します。また、夏頃には「働く拠点」として位置づけている中野地区復興産業拠点内に双葉町産業交流センターや県の「東日本大震災・原子力災害伝承館」のオープンを予定しており、周辺の施設と連携しながら、町内へ人の流れを生み出し、交流人口の拡大を図ってまいります。また、町内業者の事業再開に向けた立地支援と企業誘致にも積極的に取り組み、現在11件、16社との立地協定の締結を行いました。さらに立地を希望している10数社の企業との協定締結に向けて協議を進めているところです。

「住む拠点」として整備する駅西地区については、令和4年春頃の居住開始を目標として、昨年10月に造成工事に着手し、新たなまちづくりに係る設計者選定を開始するなど帰

還環境の整備を進めております。

昨年、町政懇談会と併せて国と合同で先行避難指示解除に向けての住民説明会を県内外11会場で開催しました。町の復興実現に向けて第一歩を踏み出すべく、避難指示解除準備区域とJR双葉駅周辺等の一部区域の避難指示解除について説明し、町民の皆さまからご要望やご意見を頂戴しました。町の復興に対する皆さまの真剣な思いが伝わり、解除に向けて強い後押しをいただいたと受け止めております。さらに町議会、行政区域長会にもご理解をいただき、本年3月の一部解除に向けて取組を前進させることとし、令和4年春頃を目標としている特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除と居住開始に向けて弾みをつけたいと考えております。

さらに、町民の皆さまの生活を支える各種支援策の継続・拡充や原子力損害賠償について、今後も粘り強く国等に要請していく所存です。双葉町を復興させるためには乗り越えなければならぬ多くの課題があり、時間が必要です。

昨年、政府は東日本大震災の復興推進委員会で、復興期間が終了する2021年3月末となっている復興

庁の設置期限について10年間延長し、2031年3月末までとする基本方針を示しました。福島再生へ「引き続き国が前面に立つて取り組む」との発言は大変心強く思っております。

本年もふるさと双葉町を未来に繋いでいくために、議会と連携しながら職員とともに町の復旧・復興、並びに町民の皆さまの生活支援や絆の維持に関する事業に精力的に取り組む、特定復興再生拠点区域復興再生計画に基づき各種事業を着実に進めてまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

寒さの厳しき折、町民の皆さまには健康に留意され、本年が良き年となりますようご祈念申し上げます。挨拶いたします。



副町長 金田 勇



教育長 館下 明夫

希望

双葉町議会議長 佐々木 清一



令和2年の新春を迎え、議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故により避難を強いられ、避難先で9度目の新年を迎えることになりました。

年の初めではありますが、まず、大変辛く厳しい不自由な避難生活の中で、故郷双葉町に帰ることが叶わず亡くなられた皆さま、ご家族の皆さまに対し、衷心よりお悔みを申し上げますとともに、避難生活を送ら

れています全ての町民の皆さまにお見舞いを申し上げます。また、福島県内でも大きな被害をもたらした台風19号、その後の大雨・洪水により被災された方々に対しまして、重ねてお見舞いを申し上げます。

昨年は、双葉駅西側地区において、帰町される方々の生活拠点の整備事業が開始され、双葉町産業交流センターの起工、さらにはまちづくりを担う「一般社団法人ふたばプロジェクト」が設立され、復旧・復興へ一歩一歩確実に進んでおります。

本年は、春に両竹・中野・中浜地区の避難指示解除準備区域とJR双葉駅周辺の一部区域の避難指示の解除や、常磐双葉インターチェンジの供用開始、常磐線の再開通や双葉駅の再開などを予定しており、帰町のための様々な事業を実施してまいります。

議会といたしましても、町としっかりと議論を行いながら町内全域の復旧・復興に、しっかりと取り組ん

でまいります。

今後も続く避難生活の中で、医療費の一部負担金等の減免措置や高速道路通行料の無料措置、さらには、自然災害により住宅に大きな被害を受けた方に支給されます被災者生活再建支援制度についても継続していただくよう、今後も町民支援のために、積極的かつ継続的に要望をしてまいりたいと考えています。

議会といたしましても、町民の皆さまの付託に応えられるよう議員一丸となって頑張つてまいりますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、今後も町の復興や町民支援に全力を傾注し、議会としての責務を全うすることをお誓い申し上げますとともに、町民の皆さまお一人おひとりが健康で希望を持ち、日々過ごされますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶いたします。



双葉町議会

議長	副議長	議員	議員	議員	議員	議員
佐々木 清一	岩本 久人	尾形 彰宏	石田 翼	羽山 君子	高萩 文孝	菅野 博紀
清一	久人	彰宏	翼	君子	文孝	博紀

福島市立清水小学校6年

藤田 花音さん (寺松)



私の新年の抱負は、勉強と部活を両立してがんばることです。

双葉町立双葉北小学校5年

大高 欣土くん (長塚二)



ぼくの新年の抱負は、水泳をがんばることです。

ぼくが水泳を始めた理由は、母の勧めで体力をつけるために始めました。スイミングスクールに通うと自分でも決めたのに途中、やりたくない気持ちや楽しい気持ちで複雑で

私は今年の4月から中学生になります。中学生は定期テストがあつて順位も出るし、これまでより勉強も難しくなると思います。部活も小学校で3年間クラリネットをやってきたけれど、中学校の吹奏楽部ではまたレベルが上がって今まで以上に練習をしなければいけないと思うからです。だから、2つをうまく両立させてそれぞれよい結果が残せるようにがんばりたいと思います。

した。初めは、なかなか思うように泳げませんでした。が、スイミングスクールで階級が上がったり、新しい泳ぎも出来るようになったり、泳ぐのがとても楽しくなりました。

今は、4種目の50メートルを練習しています。とても大変です。ぼくは、長い距離を泳ぐことが苦手なので、テスト(タイム測定)の時、息が続かないことが多々あります。そのため、ぼくは、練習をがんばり、体力をたくさんつけて速く泳げるようになりたいと思います。

今年は、上級の階級で「スーパードライヤー級」を取るのが目標です。

年男年女のみなさんに

今年の抱負や目標を聞きました

綿引 勇司さん (下条)



現在、福島市飯坂町に住んでおります。吾妻小富士に雪が積もると、晴れた日には山並みがきれいに見えます。双葉町に住んでいるところは、土曜日曜がなかなか休むことができない仕事

9年の思い出

清水 敏英さん (下条)



原発災害により白河郭内仮設住宅ができ、白河ダルマを見て双葉ダルマを思い出すとともに、数十年前、暴力団排除運動で仕入れ販売ができず双葉町の伝統のダルマ市が終わりかと思いましたが、白河ダルマ店主の佐川様より車一台分、正月6日大雪の日に譲り受け持ち帰り、無事にダルマ市が

でしたので、地域の行事や催事にあまり参加することができませんでしたが、今は県北ふたば会(自治会)の行事に楽しく参加しております。パークゴルフ、ボウリング、バス旅行等に双葉町の人々と有意義な日々を過ごしております。

今年の目標は現在通っているスポーツジムを月6回に増やし、体を鍛えること、また30年前に行った、高知城、桂浜、伊予松山城に行ってみたくて思っております。前に行った時はあまり時間がなかったため、今度はじっくり見学したいです。

できて、現在も引き続き嬉しいです。

また震災後、佐川様の協力により白河で黄色いデザインダルマに、町章を描くことの許可をいただき、眉は鶴、ひげは亀、あごひげは松、胴体に緑の町章、町に咲くさくらを一筆一筆、心を込めてみんなで描きました。あの時は町からの補助金も無く、寄付してくださった方々に金額の大小に関わらずダルマを一個進呈しました。ボランティアのみずく様が窓口になりいただいた寄付金は、猪苗代に避難した児童、仮設自治会運営費に、白河の仮設自治会が解散する時に残金全部をお礼として小峰城修復に寄付しました。

私は双葉の海で魚釣りをしたいです。

双葉町立双葉北小学校5年

野村^{のむら} 花音^{かのん}さん（羽島）

私が思う新年の抱負は、健康に気をつけ、勉強や運動を自主的にがんばり、下級生にやさしく接する事です。理由は、昨年度では勉強や運動を自主的にできなかったし、下級

茨城県那珂市立菅谷西小学校5年

松永^{まつなが} 興明^{こうめい}くん（羽島）

明けましておめでとうございます。ぼくは、今年12歳になります。双葉町に住んでいた時の思い出は、家の屋根が赤かったことと、寝たきりのおじいちゃん、がんばってご飯を

生とせつすることが少なく、あまりやさしくできなかったからです。私の学校では、せんだん祭があります。6年生になるのでみんなをひっぱってける6年生になりたいです。

せんだん祭でひろうする、せんだん太鼓を特にがんばりたいです。なぜならせんだん祭で一番最初にひろうするからです。気合をいれて、だれよりもそっせんして、努力する6年生になりたいです。このことを今年は、特にがんばって、6年生になったら全校生のお手本になれるように努力をしたいと思います。

食べている姿を見て、応援していたことです。小さかったのであまり覚えていませんが、ぼくには、今でも続いている双葉町の思い出があります。それは、ふたばっ子に参加して、毎年兄の友達に会うことです。ぼくは、1年生からふたばっ子に参加しています。兄や兄の友達も参加するのですが、弟のぼくが久しぶりに会っても、すぐに話したり、遊んだりしてくれるので、とても楽しいです。これから、ふたばっ子に参加して「久しぶり」と言える友達が増えていくよう、一緒に思い出を作っていきたいです。



2020年

南場^{なんば} 信子^{のぶこ}さん（新山）

早いもので今年で7度目の年女を迎えます。私たちの年代は、波乱万丈の時代でした。幼少の頃戦争に遭い、楽しい青春時代なんてあったかな。

今また、東日本大震災に遭い

岡田^{おかだ} 秀美^{ひでみ}さん（三字）

東日本大震災から千葉県に避難して、9年目を迎えようとしています。当地は農業が盛んなところで、双葉町に住んでいたころと変わりなく生活しています。リンゴ以外はすべてあり、特にイチゴは全国的に有名です。農業をしていた私には大変嬉しいことです。稲刈り、イ

故郷を追われ、避難所を転々とし7回目で勿来酒井団地に落ち着き、一時帰宅で見る故郷、75年暮らした我が家は跡形も無く、あの頃働きながら婦人会、グラウンドゴルフと楽しく飛び回った数々の思い出が心に焼きついています。

勿来で双葉町の伝統を守るべく若い人たちがダルマ市、盆踊りイベントと毎年開いてくださり頭の下がる思いです。町民の多くが暮らす勿来酒井団地で皆さんと心を寄せ合い残り少ない人生を前向きに楽しく健康で暮らすことを願っています。

チゴの収穫等を見ていると双葉町の生活を思い出し、農家の方との話も弾みます。

東京に電車で1時間半、千葉の市街地に50分、成田空港に40分と便利で、カルチャーセンターに通い、健康のため太極拳、頭の体操に政治から宇宙まで幅広く講義を受講しています。友人もでき、受講後の一杯やりながらのひとときは楽しみです。

講義のなかで、過去は変えることができないが、未来は変えることができる、人生一生勉強であるとの話を聞き、新たな子年を迎え、この言葉を心に刻み未来の故郷を見つめて元気で頑張りたいと思います。

令和元年度双葉町町政懇談会

町政懇談会では、町と国の原子力災害現地対策本部、内閣府原子力被災者生活支援チームが合同で双葉町の復興・再生に向けた取り組みについて説明を行いました。説明内容の概要をご報告いたします。

避難指示解除に関する考え方について

- ・避難指示解除準備区域（浜野・両竹地区）及びＪＲ常磐線双葉駅周辺の一部区域等、双葉駅から避難指示解除準備区域までのアクセス道路について、２０２０年春に先行避難指示解除を行います。
- ・先行避難指示解除区域であっても、居住の再開は、特定復興再生拠点区域全域の避難指示解除の目標時期である２０２２年春頃を目標とします。
- ・２０２２年春頃の居住開始目標に向けて、特定復興再生拠点区域全域について通行証なく入域できるよう２０２０年春に立入規制の緩和を行います。

●放射線不安に対する対応

- ・外部有識者による双葉町放射線量等検証委員会により、「避難指示解除対象区域での避難指示解除、及び特定復興再生拠点区域内の立入規制の緩和にあたっては、放射線量は十分に低減していると判断します」との報告を受けています。
- ・２０２０年春の先行避難指示解除に合わせて役場の一部機能を双葉町コミュニティセンター内において再開します。そこで、被ばく線量を測定できる個人線量計の貸与を行います。またいわき事務所に放射線相談窓口を設置します。
- ・ホールボディカウンターによる内部被ばく検査を全国の指定の医療機関にて無料で受検できます。
- ・甲状腺検査を福島県内の指定の医療機関において無料で受検できます。
- ・尿による内部被ばく検査を申し込みにより無料で受検できます。
- ・自家消費野菜等の放射性物質を検査します。
- ・東京電力福島第一原子力発電所の廃炉に関する安全監視、中間貯蔵施設の整備状況の発信等、関係機関と連携し、引き続き着実に実施してまいります。

産業・生業の復興、インフラ・交通の復旧、暮らしの安全確保、サービス機能等につきましては、広報ふたば令和2年2月号に掲載をします。また令和元年度双葉町町政懇談会全会場の議事録について、双葉町公式ホームページに掲載の準備を進めております。

NEXCO東日本より

『ふるさと帰還通行カード』のご利用に関するお知らせについて

- お引越し等により、ふるさと帰還通行カードのお申込書に記載いただいたご住所（避難先住所）に変更があった場合は、登録内容の変更が必要となりますので、必ず次の連絡先あてに、その旨ご連絡いただきますようお願いいたします。

● 連絡先 NEXCO東日本お客さまセンター ☎0570-024-024または☎03-5338-7524

特定復興再生拠点区域等の一時立入について

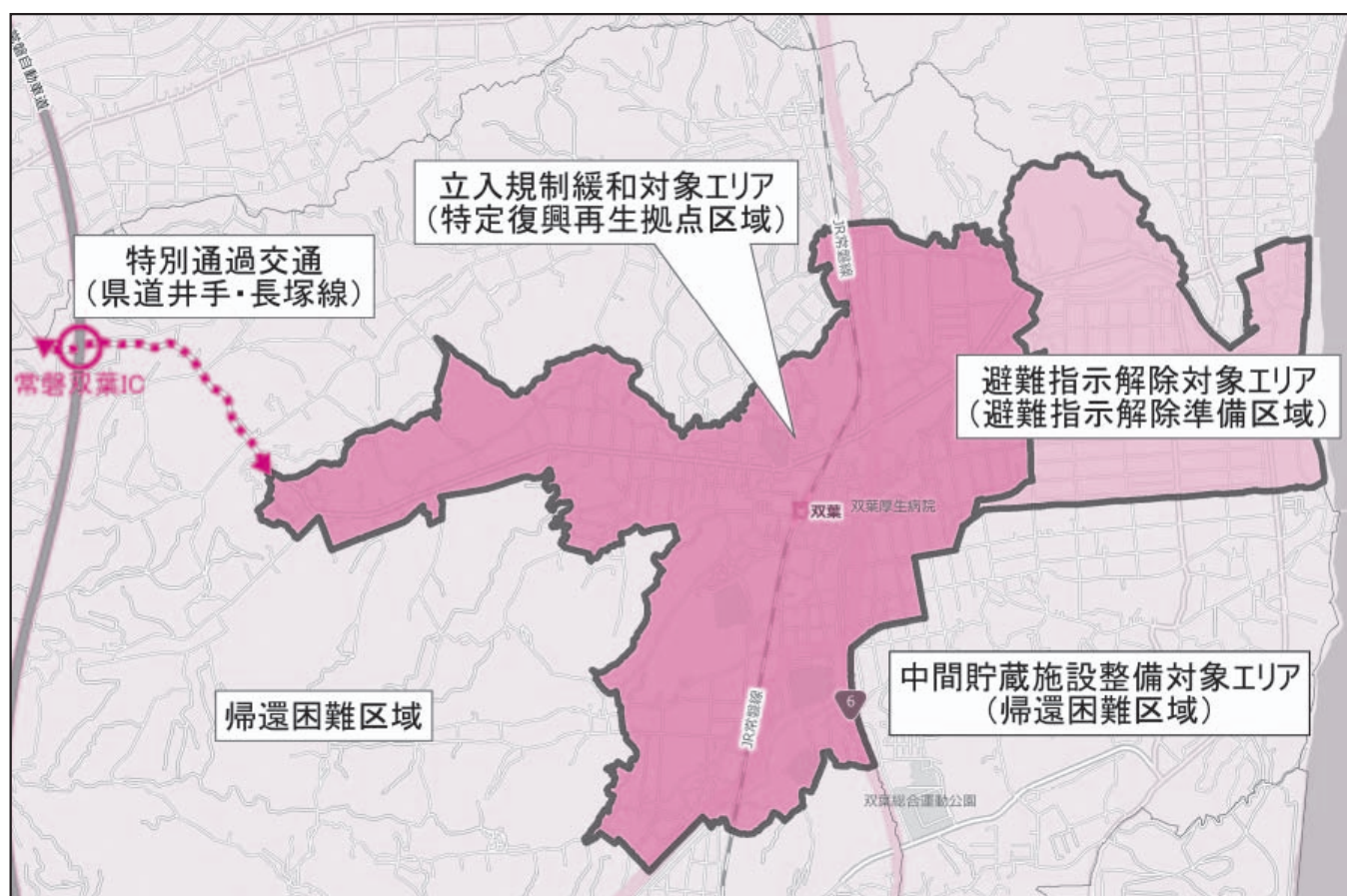
町では、特定復興再生拠点区域（下図濃ピンク枠部分）について、一時立入車両通行証の取得をすることなく、立入りをできるように進めております。

また、県道256号井手長塚線（下図赤点線）については特別通過交通が可能となり、常磐双葉ICから特定復興再生拠点区域へ一時立入車両通行証が要らずに、アクセスできるように進めております。

一方で、特定復興再生拠点区域と帰還困難区域の境界には、新たなバリケード設置等の準備をしており、立入規制の緩和が実施されると、帰還困難区域への立入りは、大きく次の2つに区分されます。

- ① 有人ゲートからの入退域（現在の国道6号等の有人ゲートからの入退域と同じ手続き）
- ② 無人バリケードからの入退域（防犯上、入域できるバリケードは限定されます）

なお、立入規制を緩和する実施日や詳細な立入方法等につきましては、広報ふたば2月号でお知らせいたします。



※立入規制の緩和に伴う留意点については、下記URLより「避難指示区域内における活動について（令和元年9月5日改訂版）」の5～6頁「認定特定復興再生拠点区域内において、バリケードなど物理的な防護措置を実施しない区域の留意点」を参照してください。

【URL】

https://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu/hinanshiji/pdf/190905_katudounituute3.pdf

第4回双葉町議会定例会

12月17日招集の令和元年第4回双葉町議会定例会で行政報告を行いました。その概要についてお知らせします。



行政報告



9月定例会以降の 行政報告

―台風第19号―

10月12日に大型で非常に強い勢力で通過した台風第19号、さらに10月25日の大雨・洪水により、河川の氾濫、堤防決壊、住宅への浸水や長期にわたる断水など、避難先でさらに被災された町民の皆さんに、心よりお見舞いを申し上げます。

今回の大雨により、町内では、町道南八房平・石熊線の石熊橋が流失したほか、林道の崩落や前田川越水により新山字広町地内等での浸水被害がありました。また、参加者の安全確保を最優先に「ふたばスポーツフェ

スティバル2019」を中止させていただくなどの影響が出ました。

さらに、被災された町民の皆さんに対し、町から避難先自治体への建物のり災判定調査申請の手続きや県営住宅提供等の周



知を行ったほか、双葉町が役場の機能を置くいわき市でも甚大な浸水被害が発生したこと、町では、いわき市に対して飲料水の提供と物資の運搬、そして建物のり災判定調査業務に職員派遣を行うなどの支援をさせていただきました。



―市町村対抗 軟式野球大会―

9月14日、三春町営野球場において開催された「第13回市町村対抗福島県軟式野球大会」で、双葉町チームは棚倉町チームと対戦し、2回戦進出とはな

らなかったものの、選手たちのはつらつとしたプレーに応援席からは熱い声援や拍手が送られていました。



―敬老会―

9月20日、双葉町敬老会をいわき市植田町の八幡台やまたまやで開催し、県内外から多数の方々に参加いただきました。式典では、出席者を代表して、93歳になられた江又敏子さんへ記念品を贈呈いたしました。また、7組の金婚夫婦に福島民報社から表彰状と記念品が贈られました。

式典後には行政区ごとにテーブルに分かれて昼食交流会が行われ、久々の再会を喜び合っていました。また、アトラクションでは、双葉町芸術文化団体連絡協議会の「標葉せんだん太鼓保存会」と「双葉町民謡同好会」のステージが披露され、出席された皆さんは楽しいひとときを過ごされていました。



― 双葉町西側地区

― 一団地起工式 ―

10月1日、双葉町西側第一地区一団地の復興再生拠点市街地形成施設事業の起工式を行い、

10月17日には、駅西地区における災害公営住宅等を整備するため、福島県と基本協定の締結を行いました。令和4年春頃の特定復興再生拠点区域全域の解除を目標としており、居住を再開する要となる地区として、公営住宅や生活関連施設等の整備を実施してまいります。



― 立地協定締結式 ―

10月16日、中野地区復興産業拠点へ立地する浅野燃系株式会社と企業立地協定締結式を行いました。現在も立地を検討して

いる企業と協議を行っており、立地協定の締結に向けて取り組んでおります。



― 梅檀祭 ―

10月26日、町立幼稚園・小中学校による「梅檀祭」が、双葉町立学校仮設校舎体育館において開催されました。小学生1・2年生の開会宣言の後、標葉せんだん太鼓の演奏から始まり、中学生の総合的な学習では「自分と地域」についての学習成果の発表や、子供たちが一生懸命練習を重ねたダンス、創作劇、合唱などが発表され、最後

に「町民の歌」を全員で歌いました。子供たちの生き生きとした姿に感動を覚えました。



― 作品展覧会 ―

10月31日と11月1日の2日間、郡山市ビッグアイにおいて「第32回双葉町総合美術展」及び「第6回町民作品展覧会」が開催され、双葉町民の皆さんの211点の作品が展示されました。また、昨年に引き続き友好町である京丹波町の芸術作品ブースを設け、文化交流を図りました。来場者は、200人を超え、素晴らしい芸術作品を観覧していました。

また、11月9日から11日の3日間、京丹波町で開催された「京丹波町文化祭2019」では、文化交流の一環として双葉町民の芸術作品特別展のブースが設けられ、作品11点が展示されました。



―表彰式―

11月3日、いわき事務所において、令和元年度双葉町表彰式を挙行いたしました。式では、特別功労表彰を3名の方々に、永年勤続表彰を4名の方々にそれぞれ表彰状を、また、6団体に感謝状をお贈りしました。安全・安心のまちづくりと住民福祉の向上、並びに双葉町

民への支援にご尽力いただいた方々に心から感謝の意を申し上げるとともに、双葉町の復興に向けて、今後とも一層のお力添えをお願い申し上げた次第です。



―ふくしま駅伝―

11月17日、第31回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が開催されました。白河市総合運動公園から福島県庁までの94.8km、16区間で健脚を競いました。双葉町選手団は、大会を前に2回にわたる合宿を行い、チームワークを高め、心を一つに大会に臨み、棄権することなく完走しました。

選手の頑張りや、町民の皆さんに、元氣と感動を与えていただいたものと思います。監督・コーチ・選手、そしてご支援いただきました関係者の皆さんに改めて感謝申し上げます。



―消防団検閲式―

11月23日、令和元年双葉町消防団秋季検閲式を双葉町立学校仮設校舎体育館において挙行いたしました。全国各地から、石井消防団長をはじめ40名の消防

団員が参加し、根本訓練分団長の総指揮のもと、真新しい活動服に身を包み、閲団と通常点検を行いました。

今年は台風第19号やその後の大雨により、町民の皆さんが避難している市町村にも大きな被害の爪痕を残しました。そうした中、避難先市町村の消防団による災害救助活動を目の当たりにしますと、消防団は災害対応の第一線であり、地域消防の核であることを、改めて認識したところです。



放射線量等検証委員会

双葉町放射線量等検証委員会は、これまで5回の委員会を開催し、9月27日、令和2年春に避難指示解除を予定している避難指示解除準備区域とJR双葉駅周辺等の一部区域の放射線量の低減状況等について、検証委員会から町に最終報告書が提出されました。

最終報告書の要旨として、除染の効果や自然減衰などが認められ、避難指示解除に当たっては、放射線量は十分低減しているとの検証結果の報告でしたが、今回の避難指示解除を目指す



している範囲の一部では、その範囲外の未除染区域からの影響により、部分的に放射線量が高い地点もあることから、改めてこれらの地点に影響している区域について、線量の低減を図るべきとの意見が出されました。

町政懇談会

11月7日から30日まで、福島県内外11会場で町政懇談会を開催し、町民の皆さんが各地に避難している中、約300人の方々にご出席いただきました。

今回の町政懇談会は、国等の関係者も出席し、避難指示解除準備区域とJR双葉駅周辺等の一部区域の避難指示解除についての住民説明会を併せて開催しました。

まず、町長から町内の復興の取り組み状況について報告した後、原子力災害現地対策本部副本部長からあいさつをいただき、町担当課長、国原子力災害現地対策本部より来年春の避難指示を解除しようとする区域についての双葉町放射線量等検証委員会の最終報告の内容や特定

復興再生拠点区域の立入規制緩和、町の復興に向けた取り組み等に関する説明を行い、ご質問、ご意見、ご要望等をいただきました。

今回の町政懇談会・住民説明会で出されたご意見等を町議会に報告するとともに協議を進め、町として避難指示解除の判断を示していきたいと考えております。また、その他のご意見についても町政運営に反映させるべく検討を深めてまいりたいと考えております。



井上幾さん(寺松)が 旭日単光章を受章

永年にわたり双葉町議会議員としての功績が顕著であるとして、井上幾さんが旭日単光章を受章され、12月11日、双葉町いわき事務所にて伊澤史朗町長から勲章とともに伝達されました。



～教育長メッセージ～

2020年 夢と希望のある「学び」へ

明けましておめでとうございます。双葉町の子どもたち、そして保護者の皆さま、町民の皆さまにおかれましては、ご家族揃って穏やかな正月を迎えられていることと推察申し上げます。

さて、双葉町を離れ避難先においてのお正月も9回目になります。ふるさとに思いを馳せながらも現在の生活の更なる充実を願い2020年に向けて多くの抱負を抱えていることと思います。教育委員会としまして、子どもたちが安全・安心、そして楽しく学校生活が送れるよう学校教育の充実はもちろん、皆さまと繋がっていけるよう努めてまいりたいと思います。また、生涯学習においては各自治会や婦人学級、さらには芸術文化・伝統芸能保存団体において熱心に活動されている多くの皆さまがいらっしゃいます。その多くの町民の皆さまが夢と希望をもって積極的に活動され、「繋がる学び」となりますよう物心両面に渡りサポートしてまいりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

双葉郡教育復興ビジョン第6回ふるさと創造学サミット

12月14日(土)郡山ビッグパレットにおいて開催されました。双葉町立学校からも、小学3年生から中学2年生までの子どもたちが参加し、双葉郡内の仲間とポスターセッションにて交流することが出来ました。子どもたちの主体性・協働性・創造性を伸ばし、自ら未来を切り拓く力を育むことがねらいの創造学サミットも今年で6回になりました。

まさしく学びあいの場。「多様な意見に触れ、多様な見方・考え方を自分の中に築いていけるようにする」これが基本となる考え方です。同年代の子どもたちと交流することの意義が深まる素晴らしい「ふるさと創造学サミット」でした。来年も楽しみです。

福島県内外において学校生活を送っている皆さんへ

再度、「いじめ問題への対策」についてメッセージを送ります。

もし、いじめ問題で悩んでいる場合は、一人で悩んでいないで、すぐに学校の先生や家族に相談しましょう。勇気を持って周りに伝えてください。双葉町教育委員会でも皆さんが強く、たくましく将来に向けて前進できるようサポートしていきたいと考えています。

そして保護者の皆さま。早期発見・早期対応がよい解決につながります。お子さんがいじめを受けている兆候をつかんだ時は、早いタイミングで学校、避難先教育委員会へ相談することが大切です。もし、困った時は双葉町教育委員会にもご連絡ください。大切なお子さんの助けになるよう全力で取り組んでまいります。

また、下記のように福島県では教育やいじめに関する相談窓口を設けております。

悩んでいることや困っていることがありましたら、一人で悩まずぜひご相談ください。

- ふくしま 24時間子ども SOS (子どものための24時間電話相談です)

☎フリーダイヤル 0120-916-024

- ダイヤル SOS (いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話です)

☎フリーダイヤル 0120-453-141

福島県教育センター (月～金 10:00～17:00)

双葉町教育委員会 教育総務課 TEL: 0246-84-5210 FAX: 0246-84-5248
メール: kyouiku@town.futaba.fukushima.jp

双葉町教育委員会教育長 館下 明夫

バーチャルふるさと遠足 ～ 町立学校 ～

11月20日、昨年に続き映像で双葉町内を遠足する「バーチャルふるさと遠足」が町立学校仮設校舎体育館で実施されました。この遠足は一般社団法人ふたばプロジェクトが企画し、NTTdocomo、凸版印刷（株）、JR 東日本水戸支社の協力のもと行われました。

子どもたちに昔の双葉町や今の町の復興の状況を知ってもらいたいと開催されたこの遠足には、双葉南北小学校の児童やふたば幼稚園の園児、保護者など約50人が参加しました。

はじめにモニターに映し出されたのは、双葉ふれあい広場にいる泉田淳南小学校校長で、児童は驚きながら画面の中の泉田校長に手を振りました。空から双葉町内の今の様子を見ながら写真を撮ることができる機械を使って、児童たちは力を合わせて方角を指示し、お気に入りの風景を写真に収めていました。続いて子どもたちは町内にいる除染作業に携わっている方々から、除染作業時の服装や建物の除染の仕方などを教わりました。

次に、児童の保護者や先生の協力のもと集めた双葉町の懐かしい写真を見て、昔の双葉南北小学校について学びました。懐かしい写真の数々に、保護者からも歓声が上がっていました。

画面が切り替わり現在工事中の双葉駅の様子や、震災前の双葉駅、これからの双葉駅がどうなるかについて、JR 東日本水戸支社の駅員の方から教わりました。「双葉駅はつなぐ駅です。何と何をつなぐか分かりますか」という問いかけに対して、児童は率先して手を挙げ「町に来てくれる人と町」「東京と仙台をつなぐと思います」などと回答しました。

最後に、触れたものの感触が伝わる機械を使い、町内にいる除染作業に携わる方々とハイタッチをしました。児童たちからは「日々大変な環境の中で双葉町のために一生懸命仕事をしてくださってありがとうございます」と感謝の気持ちが伝えられました。



デジタルハイタッチの様子



お礼の拍手をする児童

双葉ふれあいクラブからのお知らせ

令和元年度 双葉町民ボウリング大会

- 日 程… 令和2年2月1日(土)
受 付 開 始：13時30分～
ゲームスタート：14時00分～
- 場 所… ボウリング王国スポーツ平店
いわき市平正月町61-3
☎0246-22-1614
- 参 加 費… 500円
- 対 象 者… 小学生以上の方
- 競技方法… 1人3ゲームトータル ヨーロッパ方式
ハンディキャップ制

- 表 彰… 1～3位
参加者全員に賞品があります。
- 申込締切… 令和2年1月24日(金)
電話かFAXにてお申し込みください。
- そ の 他… 保険については、双葉ふれあいクラブ
で加入しているイベント共済が適用され
ますが、それ以上の補償はありません
のでご了承ください。

初心者の方もお気軽にご参加ください!

ご成人おめでとうございます

成人を迎えて

成人式実行委員長 落合 美七海（長塚二）

類のない大震災からまもなく9年が経とうとしています。今日では、メディアによる震災関連の報道を目にする機会が減り、被災地の現状を把握する術も少なくなりました。今もなお帰郷することができず、避難生活を強いられている私たちですが、こうして無事成人を迎えることができました。

この喜びを家族や友と分かち合いながらこれまで周りに助けていただいた分、大人としての自覚や責任を持ち頑張ります。

成人となった私たちには、今もなお復興できていない現状だけでなく他には無い経験をしたからこそ得られた教訓を長く後世に伝える義務があると感じます。

そしてなにより、成人を迎えることができたのは、偏に皆さまのご支援の賜物と心より深く感謝申し上げます。

まだまだ未熟な私たちではありますが、日々努力してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



令和2年 成人者名簿

(五十音順)

双葉町成人式

日時：令和2年1月3日(金)

受付 11時30分～

記念撮影 12時50分～

式典 13時15分～

場所：いわきワシントンホテル椿山荘

男子 32人

氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区
明間 優斗	山田	川崎 竜輝	新山	白井 徳真	三字	中野 強志	鴻草
石川 達也	長塚二	熊野 海	三字	高野 祐一郎	下条	西崎 竜介	下条
一條 達哉	下条	小薬 龍	三字	田川 健太	長塚二	廣田 光希	渋川
伊藤 圭祐	長塚一	木幡 輝	羽鳥	谷本 純一	長塚一	前田 篤	羽鳥
遠藤 柊貴	長塚一	坂下 和己	下条	坪井 祐樹	新山	森 大成	郡山
大空 勇汰	浜野	作山 功太郎	長塚一	富澤 政輝	新山	守家 瑞貴	鴻草
大谷 一希	下条	佐藤 旭人	長塚一	中高 祐司	下長塚	山本 雅樹	三字
加藤 慈規	山田	三瓶 蒼斗	三字	長塚 優弥	細谷	渡辺 碩	郡山

女子 21人

氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区	氏名	行政区
石橋 夏実	三字	酒井 珠莉	長塚一	中村 明日香	中田	水野 寧々	郡山
板倉 美桜	鴻草	佐藤 百合花	下条	西内 由希	下長塚	森山 沙慧	山田
板倉 優圭	下条	志賀 歩美	三字	野崎 雅	三字	柳澤 彩乃	山田
大浦 恵梨佳	新山	志賀 美咲	下条	服部 真和	長塚一		
落合 美七海	長塚二	志賀 伶美香	三字	半谷 優妃	長塚一		
紺野 朱音	細谷	頓宮 歩珠	長塚二	松本 なつみ	三字		

◆◆ 新成人の皆さまおめでとうございます ◆◆

20歳になったら国民年金

日本に住む20歳から60歳未満のすべての人は、国民年金に加入し、保険料を納めることが義務づけられています。若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、老後の生活を保障するだけでなく、万が一、病気や事故で障がいが残ったときや一家の働き手が亡くなったときなど、あなたやあなたの家族を守ってくれます。

ただし加入の届出や保険料の納め忘れがあると年金が受けられないこともありますので、加入手続きを行いましょう。加入に関する各種手続きは、役場または最寄りの年金事務所へお問い合わせください。

※20歳前に就職して厚生年金に加入中の方は、手続きは不要です。

国民年金の給付は、3種類の基礎年金があります。

- 老齢基礎年金
- 障害基礎年金
- 遺族基礎年金

※上記年金を受給するためには、それぞれ受給要件があります。

被保険者の種類	第1号被保険者	第2号被保険者	第3号被保険者
対象者	20歳以上60歳未満の 自営業、農林漁業、学生、 無職の方など	会社員、公務員など	第2号被保険者に扶養されている20歳以上60歳未満の配偶者
保険料	国民年金保険料 定額：16,540円 (令和2年度) 付加保険料：400円	報酬に応じて、事業主と被保険者が折半で負担します。	被保険者本人は保険料負担が不要です。(配偶者の加入している厚生年金の保険者が負担します)

学生納付特例制度について

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

対象となる学生は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

年金手帳は大切に保管しましょう！

公的年金制度では、全ての年金制度に共通する基礎年金番号が使用されます。国民年金や厚生年金に加入すると基礎年金番号が記載された年金手帳が交付され、加入記録や保険料状況等がこの番号で管理され、年金に関する手続きの際必要となりますので、大切に保管してください。

学生納付特例が承認された期間の年金は、将来の受給資格期間には導入されますが将来もらえる年金額には反映されません。ただし、10年以内であればさかのぼって納める（追納）ことができます。将来受け取る年金額を増額するためにも、社会人になってから保険料を追納することをおすすめします。

双葉町消防団秋季検閲式



11月23日、町立学校仮設校舎体育館において、震災後7回目となる双葉町消防団秋季検閲式が開催され、各避難先から石井義幸消防団長をはじめとする40人の消防団員が参加し、検閲式に臨みました。

式は殉職消防団員並びに東日本大震災犠牲者に対する黙とうで始まり、根本英樹訓練分団長の号令のもと伊澤史朗町長と来賓の方々による閲団、通常点検が行われました。町長式辞で伊澤町長は「先月に発生しました台風第19号では、いわき市においてもその被害は甚大であり、原発事故以降、最も多くの町民の皆さんがいわき市に避難していることから、当町でも、物資や人的支援をさせていただきました。消防団の皆さまにおいては現在全国に



避難している状況下にあつては、地域防災の中核となる役割を担う活動は難しいものがありますが、町への帰還に向けて町民の皆さんの安心安全な生活を支えるため、組織の存続は必要であると考えておりますので、皆さまの消防活動に対するご協力を改めてお願いいたします」と述べました。

続いて来賓の宇佐見明良県相双葉地方振興局長、佐々木清一町議会議員、柳澤禎双葉警察署浪江分庁舎所長、林浩浪江消防署長が祝辞を述べられました。

式の中で6人の団員に対する定例表彰が行われ、石井消防団長から表彰状が贈られました。消防団員たちは新調した活動服で式に臨み、士気を高めていました。



◆ ◆ 長塚一行政区からのお知らせ ◆ ◆

総会・交流会を下記のとおり開催しますので、ご参加ください。

日 時： 3月15日（日）1泊2日
 受 付 …… 午後2時30分～
 総 会 …… 午後3時～
 交流会 …… 午後6時～
 宿 泊
 場 所： 小名浜オーシャンホテル
 いわき市泉町下川大畑17
 会 費： 10,000円

申込締切： 3月5日（木）までに参加の有無をお知らせください。

備 考： ◆総会参加者で長塚一行政区の運営を審議しますので参加くださいますようお願いいたします。
 ◆町からの「現況説明会」も予定しています。
 ◆参加される役員の方は午後2時までにご集合ください。

【連絡先】 木幡 智清 ☎ 090-7666-3116
 岩元 善一 ☎ 090-7338-9644

※行政区の総会・交流会の参加費は、生活サポート補助金の対象となります。

第52回 花いっぱいコンクールで 双葉町つくば自治会が特別賞を受賞

福島民友新聞社主催の第52回花いっぱいコンクールで双葉町つくば自治会が特別賞を受賞し、12月3日に双葉町いわき事務所において、伊澤史朗町長から上原滋自治会長に表彰状と記念品が伝達されました。



いわき・まごころ双葉会 寄り添って、絆を深めた12月例会

12月14日新舞子ハイツで、伊澤史朗町長、薄磯地区有志の会をお招きし、総勢121人が参加して、日ごとに寒さが募る師走半ば、楽しい心温まる一時を共有しました。

大橋庸一事務局長から「参加者の歓迎、会員長期避難中への労い、水害被災者へのお見舞い等」のあいさつに続き、伊澤史朗町長から「双葉町の現況と復興への取り組み」についての講演で、故郷双葉町の復興への確かな歩みと近未来について、さらに期待と理解を深めました。

薄磯地区有志の会代表の大河内喜男さんから今後も交流を続けたい旨のあいさつをいただき、いわき・ま

ごころ双葉会女性部から、幸福を呼ぶ「双葉ダルマ」を贈呈しました。

余興では、山椒家小粒さんの落語で、腹の底から大笑いし、恒例のビンゴゲームで一喜一憂し、好間高校のフラダンス部による、しなやかで若さ溢れるダンスからパワーを貰い、アンコールでしっとりと踊った「ふるさと」は、皆さんへの大きな癒しとなりました。

参加者は、プレゼントの磐城農業高校で栽培した「シクラメン」を受け取り、広いわき市に点在居住する会員同士、久しぶりの再会に絆を深め、新年へ向け励まし合い、散会しました。



いわき市南台応急仮設住宅の物品譲与のお知らせ

いわき市南台応急仮設住宅の撤去に伴い、仮設住宅に備え付けられている物品を、住宅を再建された方に無償でお譲りいたします。

ご希望の方に申請書類を送付いたしますので、下記問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

なお、住宅を再建されていない場合は申請できませんので、あらかじめご了承ください。

1. 申請書類の請求期間 … 令和2年1月 7日(火)～令和2年1月17日(金)
2. 募集受付期間 …… 令和2年1月20日(月)～令和2年1月31日(金)
※郵送の場合、募集受付期間内に必着をお願いいたします。
※募集受付期間外に申請されましても受付できませんのでご注意ください。
3. 譲与対象者 …… 被災当時、双葉町にお住まいで住宅を再建された方(住宅を購入、新築された方、復興公営住宅に入居されている方、賃貸住宅(借上げ住宅を除く)に入居されている方)
4. 譲与対象物品 …… ●消火器(型番YA-4X 使用期限2028年) 57本(お1人様1本まで)
※対象となる物品は現状有姿のまま譲与するため動作確認等はしておりません。

【申請・問い合わせ先】 いわき事務所 生活支援課 ☎0246-84-5200(代)

夢ふたば! 明日に踏み出せ!! in 勿来

双葉町ダルマ市開催のお知らせ

平成31年度(令和元年度)福島特定原子力施設地域振興交付金事業



新春恒例!

今年も、双葉町民有志の「夢ふたば人」主催により、
双葉町ダルマ市が開催されます。

■日 時：令和2年1月11日(土)・12日(日) 9:00～

■場 所：復興公営住宅 勿来酒井団地(いわき市) イベント広場

プログラム

11日(土) 出店の開店時間 9:00～15:30

時 間	内 容
8:00	相馬妙見宮初發神社 高倉洋尚宮司による祈祷
8:30	奉納神楽(三字の神楽)
9:00	開会式
9:30	子供樽 ^{みこし} 神輿
11:00	大道芸人によるステージ
13:00	巨大ダルマ引き
14:00	標葉せんだん太鼓

12日(日) 出店の開店時間 9:00～15:30

時 間	内 容
9:40	双葉町民俗芸能発表会
10:30	第30回双葉町芸能発表会
12:00	消防団ダルマ ^{みこし} 神輿
13:00	ロボットのぞみ(パントマイム)
15:00	閉会式

【問い合わせ先】産業課 商工労政係 ☎ 0246-84-5214

◆ 双葉町民俗芸能発表会 ◆

日 時	芸 能 名	団 体 名
11日(土) 8:30	三字の神楽(奉納神楽)	三字芸能保存会
12日(日) 9:45	渋川の神楽	渋川芸能保存会
12日(日) 10:05	前沢女宝財踊り	前沢女宝財踊り保存会
12日(日) 10:15	相馬流れ山踊り	双葉町相馬流れ山踊り保存会

◆ 第30回 双葉町芸能発表会 ◆

開催日：1月12日(日)

時 間	演 目	団 体 名
10:30	開会のことば	
10:35	一月一日、この広い野原いっぱい ばらが咲いた、八木節	JAスマイル大正琴
10:50	壁ぬり甚句(踊り)、三味線合奏 花笠音頭	双葉町民謡同好会
11:05	双葉町民の歌、大切なふるさと 大切なもの	コーラスふたば
11:20	いなずま、夏	標葉せんだん太鼓保存会
11:35	ふたば音頭	
11:55	閉会	

※時間は目安です

【問い合わせ先】 双葉町教育委員会 教育総務課 生涯学習係 ☎ 0246-84-5210

昨年につき勿来酒井団地で開催します！

会場の駐車スペースに限りがあります。相乗り・バスのご利用にご協力ください。

周辺の駐車場のご案内

●くぼた「街の駐車場」

- ・JA福島さくら 勿来支店
- ・東邦銀行 勿来支店
- ・ひまわり信用金庫 勿来支店

無料シャトルバスのご案内

双葉町いわき事務所
第2駐車場 ↔ 勿来酒井団地
9:00～15:30※

1月11日(土) 12日(日) 両日とも
無料シャトルバスを運行します

※ 双葉町いわき事務所第2駐車場：9:00、10:00、11:00、12:00、13:00、14:00、15:00
ダルマ市会場：9:30、10:30、11:30、12:30、13:30、14:30、15:30



支援が必要な子向け 就学説明会の開催について

支援が必要なお子さまの就学へ向け、下記により就学説明会を開催いたします。
説明会後には個別相談の時間を設けます。お気軽にお申し込みください。

開催日時：令和2年2月20日（木） 13:30～15:30

開催場所：県立富岡支援学校 本校舎（いわき市平馬目字馬目崎61）

対象の方：令和3年度以降に就学を迎える双葉郡に住民票のあるお子さまの保護者

内 容：いわき市教育支援室、郡内教育委員会及び富岡支援学校が、以下の内容について説明いたします。
なお、説明会後個別相談の時間が設けられます。保健師や郡内教育委員会に就学に関する不安や
悩み、普段の心配事などお気軽にご相談ください。

- ・特別支援学級・通級・特別支援学校等について
- ・双葉郡内での就学手続きについて
- ・いわき市の就学の流れについて
- ・富岡支援学校について

申込期限：令和2年1月31日（金）

申込方法：右記の担当課保健師までお申し込みください 健康福祉課健康づくり係 ☎ 0246-84-5205

主 催：双葉地方地域自立支援協議会 こども部会

（事務局）川内村保健福祉課保健福祉係 ☎ 0240-38-2941

双葉町健康福祉課福祉介護係 ☎ 0246-84-5205

はじめよう転倒予防！



「健康寿命」を短くする原因の一つに「転倒による骨折」があります。
高齢者の転倒は骨折に結び付きやすく、そのまま寝たきりにつながるおそれもあり、転倒予防のための運動をすることがたいせつです。

今回は簡単にできる「転ばない」身体をつくる下肢の運動を紹介します。

転倒予防につながる2つのトレーニング

1. 大腿四頭筋のトレーニング

背もたれに寄りかからないように椅子に腰掛け、両手は椅子の端をかくく持ちます。

片脚を上げて伸ばし、つま先は天井に向けます。そのままの状態、膝上から太ももにかけて力を入れ5秒間キープします。反対側の脚も同様に行います。

2. ふくらはぎの筋力を強化するトレーニング

椅子の背やテーブル、壁などに片方の手を添え、体を安定させます。

足を肩幅と同じくらいに開き、両方のかかとをしっかりと上げたら、ゆっくりとかかとを下ろします。顔を前に向けて行うことがポイントです。

※どちらもお腹やお尻に力を入れて行うとより効果が上がります。

1日10回からはじめて「転ばない」身体を作ることが「転倒予防」のポイントです。



令和元年度 福島県避難者検診（がん検診）のお知らせについて

総合健診、乳がん検診等でがん検診を受診できなかった方を対象に、福島市、郡山市、いわき市の医療機関においてがん検診を実施します。

胃がん検診はご希望により内視鏡検査も受診できます。詳細は同封のチラシをご覧ください。

認知症への理解を深めましょう

～ 本人が安心して生活できる環境を整える・家族へのサポート ～

● そもそも認知症とは

認知症は、脳の働きが低下することで引き起こされるさまざまな症状のことです。大きく分けて、脳の働きによって起こる症状（中核症状）と、環境や体験、気質によってあらわれる症状（周辺症状）の2種類があります。

中核症状（すべての人にいずれかの症状があらわれます）

症 状	具体的な症状
記憶障害	ひどい物忘れ・記憶が抜け落ちる
判断力の低下	正しい方を選べない
理解力の低下	ルールがのみこめない
見当識障害	時間、場所、人がわからない
実行機能障害	慣れているはずのことが段取りよくできない



周辺症状（約8割の人にいずれかの症状があらわれます）

症 状	具体的な症状	症 状	具体的な症状
多弁・多動	話が止まらない・じっとしていない	昼夜逆転	夜になると興奮して大声を出す
暴言・暴力	突然怒り出す・攻撃的になる	幻覚	そこにはないものが見えると言う
排泄トラブル	おもらしをする・便を手にとる	妄想	お金を取られたなどと思い込む
徘徊	あてもなく歩き回って帰れなくなる	食行動異常	過食・拒食・異食（食べ物以外を口に入れる）

● 認知症の原因

「認知症」は、さまざまな病気によって脳の神経細胞が壊れることで発生する症状（上記の表）であり、病名ではありません。原因となる病気は、アルツハイマー病を始めとした脳に直接影響が及ぶものや、脳血管の詰まりや破れによる脳の機能低下（血管性認知症）等があげられます。

● 対処法（本人や家族が安心して生活するために）

ご家族が認知症の方にできることは、自分が必要な存在だと認識させることです。本人ができることを把握し、それをお願いしたり、頼りにすることで達成感やお互いの信頼感につながります。そのときは感謝の気持ちを伝えましょう。

プライドを傷つけないことも大切です。「叱らない」「指摘しない」「否定・議論しない」よう注意しましょう。できるだけ相手の意思を汲み取るようにし、穏やかな声で対応することが大切です。何度も言い聞かせようとしても認知症の人には意味が分からず、反感を抱かせることになりかねません。

また、なるべく環境を変えないようにして、人間関係、生活環境、生活習慣を認知症の人のリズムやペースに合わせてあげることも大切です。孤独にさせないで人と関わる時間を定期的に設けましょう。在宅であれば時々話しかけ、施設であれば他の入居者と顔を合わせ、交流する機会を設けましょう。

※出典：ベネッセスタイル ケアHPより「認知症の症状と原因」

介護施設イリーゼHPより「認知症の人への対応と介護のポイント 症状を悪化させないために」

福島地方法務局 相続 Q & A

Q 相続登記をしないで放っておくと、どのようなデメリットがありますか。

A 相続人の中に所在不明な方などがいる場合、すぐに登記を含めた相続の手続きをすることができず、相続分を確定することが困難となります。さらに、相続が2回以上重なると、誰が相続人となるのか、その調査だけで相当の時間が掛かり、相続登記の手続費用や手数料も高額となってしまいます。相続に手続に時間が掛かると、相続した不動産を売りたいと思ったときに、すぐに売ることができなくなるなど、思わぬ不利益を受けることがあります。

また、相続登記が放置されているため、所有者の把握が困難となり、まちづくりのための公共事業が進まないなどのいわゆる所有者不明土地問題が顕在化しており、また、相続登記の未了は、適切な管理がされていない空き家が増加している大きな要因の一つであるとの指摘もされています。



ご不明な点は下記までお問い合わせください。

「福島県司法書士会」 ☎ 024-534-7502

「福島地方法務局」 ☎ 024-534-2045

法務局公開講座開催のお知らせ

**福島地方法務局いわき支局では、
一般の方を対象に公開講座を開催します。**

日 時 令和2年1月30日(木)
午後1時30分から午後3時30分まで

場 所 いわき市平字堂根町4番地11
いわき地方合同庁舎5階共用会議室

講座内容 公証人による「相続と遺言」
法務局職員による「相続と登記」
先着30名 無料・予約制

予 約 先 福島地方法務局いわき支局総務課
☎ 0246-34-1651 音声ガイダンス「3」



双葉町社会福祉協議会

～ 健康運動教室、サロン開催のお知らせ ～

こころとからだの健康のため、運動不足を解消しましょう。お気軽にご参加ください。

会 場	開催日	時 間	問い合わせ・申込先
健康運動教室 （内容：健康講話、相談、運動機能の維持・向上等）			
南東北総合卸センター 2階第6会議室 （郡山市喜久田町卸1丁目1-1）	毎週 木曜日	13:30～15:00	郡山事務所 ☎ 024-973-5291
県北保健福祉事務所 4階中会議室 （福島市御山町8-30）※上靴をご持参ください。	1月28日(火)		

社協サロン（内容：健康体操、講話、相談、生きがいづくり、交流等）

※参加を希望される方は昼食準備のため、事前申し込みをお願いします。

郡山市喜久田公民館 （郡山市喜久田町堀之内字下河原1）	1月20日(月)	10:30～14:30	郡山事務所 ☎ 024-973-5291
白河市中心老人福祉センター （白河市北中川原313）	1月21日(火)	10:00～14:00	
いわき市小名浜公民館 （いわき市小名浜愛宕上7-2）	1月28日(火)	10:30～14:30	本部事務局 ☎ 0246-84-6725

消防署からのお知らせ

**本年もより一層の火災予防に
ご協力のほどよろしくお願い
いたします！**

この季節は空気が乾燥し、火災が発生しやすい季節です。

大切な命、財産を守るため火の取扱いには十分注意してください。一人ひとりの防火意識が地域の安全に繋がります。

**暖房器具の火災に注意！**

- 1 暖房器具の周りに燃えやすいものやスプレー缶を置かない！
 - 2 外出する時、就寝する時は必ず火を消すこと。
 - 3 燃料補給する時は、必ず火を消し、燃料タンクの蓋はしっかり閉めておく！
- 上記のポイントをおさえ、暖房器具からの火災を防ぎましょう！

**1月26日は文化財防火デーです！****Q 文化財防火デーって何？**

世界最古の木造建造物である法隆寺の金堂で火災が発生し、堂内の壁画の大半が焼損したことをきっかけに、**国民の文化財愛護に関する意識の高揚、防災体制の確立を図るために**火災が発生した1月26日に制定されました。また、日本の文化財は木や和紙などの可燃物で作られているものが多く、**一度火災になると、大きな被害を受ける危険性が高くなります。**

Q 文化財防火デーでの取り組みは？

消防、文化財関係者および地域住民が協力して、全国各地で**消防訓練**が実施されています。この機会に文化財愛護の意識や防火・防災意識の高揚に努めましょう。

**地域住民一丸と
なり、文化財を
守ろう！**



令和元年度 全国統一防火標語

【ひとつずつ いいね！ で確認 火の用心】**【消防署連絡先】**

・浪江消防署 ☎ 0240-34-4111
・富岡消防署 ☎ 0240-22-2119

双葉地方水道企業団から双葉郡の皆さまへお知らせ

～ 水道水の濁りとその後の対応 ～

10月12日の台風19号及び10月25日の記録的豪雨により、広野町・富岡町の一部、楡葉町・大熊町の全域の水道水に濁りが発生し、皆さまに大変なご心配とご不便をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。このたびの状況につきまして、以下のとおりご説明させていただきます。

1 濁りの原因について

水道水に濁りが生じた原因は、豪雨により、楡葉町の水源（伏流水・浅井戸）に濁りが流入したに加え、木戸川（楡葉町）の濁りにより小山浄水場（楡葉町）の水処理に不具合が生じ、濁りを完全に除去することが出来ませんでした。

そこで、生活用水確保のために、給水は継続し、飲用について摂取制限を実施しました。

2 水道水中における放射性物質の検査について

水道水中における放射性物質の検査は、北林配水池（楡葉町）における1日1回の検査に加え、小山浄水場においては24時間連続（1時間に1回）で検査をしており、全て検出限界値（1 Bq/kg）未満です。検査結果は、企業団ホームページで公表しております。

3 水道料金について

水道水に濁りが発生した期間に水道水をご使用されていた広野町・富岡町の一部、楡葉町・大熊町の全域のお客様につきましては、12月分の水道料金の基本料金を0.5月分減免させていただきました。

対象となりますお客様には、「使用水量のお知らせ」の通信欄でお知らせしましたので、お客様よりお申し出いただく必要はございませんでした。また、累計使用水量が10 m³未満の富岡町の一部及び大熊町の全域のお客様につきましては、基本料金の減免が優先となりました。

4 最後に

小山浄水場の水処理に不具合を生じさせたる過砂の入れ替え作業が11月中旬までに完了し、水処理工程に不備のないよう、これまで以上に留意しております。

安全で安心な水道水の給水に、職員一同、全力で取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

水道水の濁度（濁り）の測定値について

災害の内容	測定場所 (いずれも楡葉町)	水質基準に定める濁りを 超過した日	濁度の測定値 (水質基準 2.0 度)
台風 19 号	北林配水池	10月14日	2.06 度
	小山浄水場	10月15日	3.77 度
10 月 25 日の 大雨	北林配水池	—	—
	小山浄水場	10月27日	3.90 度

小山浄水場 濁度の測定値 < 0.1 度（10月30日採水）

環境省 福島地方環境事務所からのお知らせ ～中間貯蔵施設について～**◇中間貯蔵工事情報センターについて**

中間貯蔵施設の様子をバスでご覧いただく見学会を月1回実施しています。

1月は、24日(金)を予定しています。見学のお申し込み・お問い合わせは、中間貯蔵工事情報センター(☎0240-25-8377)までお願いします。



中間貯蔵工事情報センター



見学会の様子(2019年11月撮影)

◇輸送状況について

双葉町内中間貯蔵施設の受入・分別施設等への輸送状況は下記のとおりです。

- ・2019年度は、653,425^m³搬入しています。(2015年からの累計は1,564,722^m³) ※12月12日現在
- ・年末年始(12月28日～1月5日)は輸送を休止します。

◇双葉町企画展について

環境再生プラザでは、10月1日から、企画展「双葉町のいまとこれから」を開催しています。震災前や現在の町の様子、復興への取り組みなどをパネルや写真等で紹介しています。展示は1月31日(金)までの予定です。皆さまぜひご覧ください。

*環境再生プラザ(福島市栄町1-31) <http://josen.env.go.jp/plaza/>

◇保管場及び陳場下交差点の放射線監視

- ▶空間線量率の測定により、除染土壌等の搬入による周辺への影響は見られないことが確認されています。今後もしっかりと安全対策及び放射線の監視を行ってまいります。
- ▶中間貯蔵施設及び周辺モニタリングの結果については、以下のJESCO(中間貯蔵・環境安全事業株式会社)のHPで公表しております。(URL) <http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html>



【問い合わせ先】福島地方環境事務所 中間貯蔵部 中間貯蔵総括課 ☎024-563-1293

指名競争入札参加資格審査 令和2年度申請受付

町の指名競争入札に参加するためには、「指名競争入札参加審査資格申請書」を提出する必要があります。提出された申請書は、一定の基準に基づき審査を行い、必要な資格を満たしている方を有資格者として登録します。

今回は、追加で有資格者登録を希望する方について、令和2年度の1カ年の資格審査申請書を受け付けます。

▼受付期間

令和2年2月1日(土)から2月29日(土)まで
持参の場合：午前8時30分～午後5時15分
※土・日曜日、祝日を除く(郵送の場合は可)

▼提出書類

- ・福島県様式に準じる(各1部提出)
詳細は双葉町のホームページをご確認ください。
- ※申請書はA4ファイルとします。
- ※ファイルの色については、(建設工事：グリーン、測量等：イエロー、物品・役務：ピンク)で提出してください。

▼提出場所および提出方法

持参または郵送(締切日必着)のいずれかの方法により双葉町いわき事務所総務課管財係へ提出してください。受付票が必要な方は、受付印を押印する書類と返信用封筒、もしくは返信用はがきをご用意ください。(任意様式可。宛先を記入し、必ず郵便料金分の切手を貼り付けること。)

▼当該資格の有効期間

令和3年5月31日まで有効です。

【問い合わせ先】総務課 管財係 ☎0246-84-5201



厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」



福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

【求職者向け】行くしかない!! 合同就職面接会 in 郡山

実は面接会が就職への近道♪ 就職の情報収集は直接がいいね!
就活に役立つ必見イベント盛りだくさん! 参加無料・申込不要・履歴書不要



- 【イベント】
- ★企業プレゼン
 - ★証明写真の無料撮影
 - ★応募書類キットのプレゼント

- 日時… 1月31日(金) 13:00～16:00(受付開始12:30～)
- 会場… ビッグパレットふくしま コンベンションホール(郡山市南2丁目52番地)
- 参加企業… 38社

※雇用保険受給者は求職活動実績になります。参加証明書を発行します。

※参加企業の詳細は、ホームページをご覧ください。

【求職者向け】職場体験実習「大人のインターンシップ」説明会

就職活動に一步が踏み出せず不安、未経験の職種にチャレンジしてみたいけど自分に合うかわからない…。そんな方、必見!! 県内480以上の登録事業所の中から興味のあるお仕事を体験できるチャンスです。求人票だけではわからない職場を自分で見て、聞いて、やってみる。そんな体験型の就職活動はいかがですか。まずは説明会にご参加ください。

- 内容… 1人15分程度の個別説明会(申込不要・参加無料)
- 日時… 1月20日(月) 13:30～15:15
会場… ハローワーク郡山(郡山市方八町2-1-26)
- 日時… 1月21日(火) 13:30～15:30
会場… ハローワーク相双(南相馬市原町区桜井町1-127)
- 日時… 1月28日(火) 9:30～11:30
会場… ハローワーク富岡(富岡町大字小浜字大膳109-1)



【申し込み・問い合わせ先】 ホームページ [働きたいネット](#) [検索](#)
福島広域雇用促進支援協議会 福島統括窓口(福島市中町4番20号 みんゆうビル202号)
☎ 024-524-2121 FAX 024-524-2125



パートタイム労働者・有期雇用労働者の皆さま、2020年4月より順次
正規雇用者と非正規雇用者の間の不合理な待遇差が禁止されます

正社員と比べて、こんな差ありませんか?

「基本給→少」「賞与→無」「手当→無」

「仕方がない・・・」とあきらめる前に

【相談窓口】 福島労働局 雇用環境・均等室 ☎ 024-536-4609



双葉の風だより

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りの一部をご紹介します

【文芸】

川柳・齢一つ 重ねて拝む 初日の出

・連山の 冠雪照らす 初日の出

・冬至過ぎ 暁目一つ 陽の伸ぶる

短歌・祖代より 磨き住みにし 故郷は

今は更地で 見る影もなし

里謡・いとこ訪ねて温泉の宿へ

一夜語らう夢のごと

今泉 禮子（長塚二）

【夢】

菜の花咲きて黄金色

浜野の里に輝きぬ

阿武隈の嶺に日は暮れて

夜空に光る星の空

春の夕べの風優し

灯火光る長塚の

光輝くあの夕べ

双葉の町と懐かし

胸に残るは鮮やかに

今は儼に浮かぶのみ

何時の日か 必ず帰る日を胸に

この想い 永遠に忘れじ

古室 仁（浜野）

第72回 福島県文学奨励賞

（受賞作品）

題「故郷を追はれて」（前号の続き）

11 メルトダウン 庭大根元に 蟻地獄

12 春霞 故郷阿武隈 寂しかり

13 幼子の 故郷二つ 蚯蚓鳴く

14 怒も哀も 故郷癒す 月見草

15 秋の暮 吾が地帰還困難

16 紅薔薇を 咲かせ米寿 迎へたり

17 初春の 被災地の道 ひた歩む

18 山眠る 故郷空き地 ばかりなり

19 被曝地の 古巣忘れず 来る燕

20 避難地に 足弾みつつ 盆踊

鎌田 益實（三字）



▶令和元年11月3日に行われた受賞式で、鎌田益實さん（左）と内堀雅雄福島県知事

「県文学集第67集一第72回福島県文学
受賞作品集」
令和2年3月下旬発行予定

内容 ・第72回県文学賞受賞者一覧
・受賞作品 など
県内書店にて販売予定

人のうごき11月分 敬称略

お誕生おめでとうございます

氏名	生年月日	保護者	行政区
松田 愛茉	11月11日	貢紀・奈美	長塚一

お悔み申し上げます

氏名	年齢	死亡日	行政区
新川 美昭	71	10月27日	中田
樋渡ヨシ子	83	10月28日	新山
本田 富男	86	11月2日	郡山
中野トヨミ	92	11月5日	長塚一
笠原 信一	92	11月6日	新山

双葉町民の避難状況（令和元年11月30日現在）

- ・福島県内に避難されている方 4,050人
- ・福島県外に避難されている方 2,805人

※平成23年3月11日時点の住民基本台帳人口から死亡者を引き、出生者と転入者を加えた人口を示しています。

連絡のついた方で、了承の得られた方のみ出生、死亡の方の名前を掲載しています。

なお、掲載を希望しない場合は秘書広報課までご連絡ください。

秘書広報課 ☎ 0246-84-5202

記録として次の世代へ
ふるさと

絆通信

第81号



ずっと、ふるさと。双葉町。



双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして東京電力福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先のない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日どのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載しています。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



「ふるさと絆通信」で

あなたの想いを伝えてみませんか。

ふるさと絆通信では、避難されている皆さんへ想いを伝えていただける方を募集しています。

避難生活での活動や日々の生活の中で感じていること、ふるさと双葉町への想いをこのコーナーでお話ください。双葉町民の方ならどんなでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が町民の皆さんの避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただきます。

掲載する文章は、その内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する必要はありません。

【問い合わせ先】 秘書広報課

☎ 0246-84-5202

いがり りえ
猪狩 梨江さん
 [旧姓：大森]

(細谷)



●居住先●
 福島県いわき市



2度目の挑戦でフラガールへ

小学生の頃、地区の子ども会でスパリゾートハワイアンズを訪れた際、フラダンスショーを観て「私も踊りたい」と思いフラガールを志しました。

ダンスが好きで中学生の頃からモダンバレイを習い、高校3年のときフラガール募集に応募しました。縁がないという結果でしたが、諦めることはなく、東京都内の専門学校でダンスを学び、20歳での再挑戦を経て、平成16年春、ハワイアンズを運営する常磐興産(株)に入社しました。その後、ゼロからの出発として研修に臨み、その7月に初舞台を踏むことができました。

困難な状況だからこそ

入社時、どんなことがあっても、目標として10年間はフラガールを続けると決心しましたが、間もなく8年目を迎えようとしていたときに震災が発生しました。さらに、その1カ月後には、大規模余震で大きな被害を受け、原発事故の風評被害も加わり、自らが課した目標どころか、ハワイアンズの存続すら危ぶまれる深刻な事態となりました。

しかし、「二山一家」の精神で炭鉱閉山の危機を乗り越えた時のように、全社員で気持ちを一つにして復旧に取り組み、私たちフラガールも平成23年4月末からレッスンを再開し、5月初旬には班に分かれ「フラガー

ル全国きずなキャラバン」として、避難所の慰問や、被災地に心を寄せていただいている各地の皆さんに向け、励ましと感謝の舞台を届ける活動を始めました。

聞き覚えのある声で名前を呼ばれ

私がリーダーを務める班は、津波被災地・いわき市江名の避難所から始まり、故郷の皆さんが身を寄せる避難所・旧騎西高校を訪問したときは、気持ちを落ち着け、精一杯の笑顔でダンスを披露させていただきました。

終演後、皆さんの笑顔と大きな拍手、そして、懐かしい方々から聞き覚えのある声で「梨江ちゃん」と呼ばれる中、故郷を失った悲しみと、お互いに再会できた喜びが交錯し、涙が止まりませんでした。そのとき気持ちは一生忘れないと思います。

これからも故郷復興の一助になれば

きずなキャラバン、そして、ハワイアンズの営業と公演の再開を経て、3年前に舞台を降り、現在は管理業務にあたっています。

昨秋、町立小学校の児童が梅檀祭の劇中でフラダンスを披露するにあたり、指導役としてお声がけをいただきました。慰問以降、双葉町復興のお手伝いができればと考えていましたが、今後も、微力ではありますが、仕事や経験を通して、故郷に寄り添っていければと思っています。



いしい みゆ
石井 美有さん

(長塚一)



●避難先●
東京都板橋区

故郷の思い出は「将来」への始まり

家族、親類、友人など親しい関係にある方々の多くが同じ町内におり、ほぼ毎日、近所にある父の実家を訪れ、週に何度か祖母からピアノの手習いを受ける。双葉町で過ごした約10年間の日々、単なる「過去の思い出」ではなく、今の私にとって、故郷の将来に向け希望をかける「始まり」になっていると感じています。

環境の変化と「自分に向き合う」こと

避難後、田村郡内の小学校を経て、中学入学からいわき市内に移りましたが、生徒数約600人を擁するマンモス校で、双葉町のように幼馴染みがいるわけでもありません。人間関係で大変なこともありましたが、逆に、一人で主体的に何かをできるような気持ちの切り替えに繋がったのだと思っています。そうした中、ふたば未来学園の開校を知り、被災により途切れたままになっていた故郷との繋がりに何かを感じて、開校2年目を迎えた同学園高校に進みました。

部活動は演劇部に入り、2年生になってからは脚本を担当しました。取り組んだ作品は、震災体験を中心に、慣れない土地での生活、転校先に馴染むことの難しさや、そこで受けたいじめなども含まれる内容でしたが、芝居を通して、原発事故以降や将来について、自らと向き合う機会になりました。

故郷への思い出に踏み出した一歩

総合学科スペシャリスト系列で商業を中心に学び、料理や菓子づくりが好きなこともあって、双葉郡内の農水産物など地場産品を活用した商品開発に関心を持つようになりました。そして、3年生になり演劇部を引退してからは社会起業部に加わり、生徒が地域との繋がりを具現化する活動の一つとして行うカフェの立ち上げにも携わり、それらの成果を「未来創造探究」として、故郷再生や地域課題などへの取り組みを大会等で発表する機会もありました。

故郷への恩返しを目指して

高校卒業後、立教大学経済学部に入學し、ほぼ時を同じくして、母校の後輩たちによって開発された商品の販売支援や故郷の情報発信などを行う、一般社団法人「結び葉」を設立し代表を務めています。今後、様々なネットワークを広げながら、課題の解決だけでなく「人を助ける仕組みづくり」を目指しています。

昨年6月、開設準備に汗を流したカフェは、「cafeふう」として産声を上げました。そこで活動する後輩たち姿に誇らしさを感じた一方、自分を成長させてくれた故郷に少しでも恩返しができるよう知識の吸収に努めるなど、今後も勉強を続けたいという気持ちを新たにしました。

わたべ はやと
渡部 颯斗さん

(羽鳥)



●避難先●
福島県いわき市



親戚同様に可愛がられた

下羽鳥で5歳まで過ごしましたが、家にもってゲームをするより、田畑や野原、地区鎮守に向かう道などを歩き回って遊んでいました。

地区では先祖代々暮らしている方々が多い中、私たち一家は、親から双葉町に住み始めた「新しい住民」にもかかわらず、親戚同様に接していただき、皆さんからとても可愛がられました。

故郷への思いは変わらず

町を離れてから東京都内で小学校に通いましたが、毎年、夏休みになると「集まれ！ふたばっ子」に参加して、友達や先生方等と再会すること、そして、幼い時の友達と1年に1回過ごせる時間は、何よりの楽しみでした。

一方、都会での生活は友達もでき、それなりに楽しい時間でしたが、河川敷など都会にあるわずかな自然で遊ぶことが楽しいなど、自然に囲まれた下羽鳥での日々を忘れることはなく、少しでも双葉町の近くに居たいと思っていました。

故郷を自覚できる学校生活

平成29年、いわき市に移り、故郷への思いもあって双葉北小学校に転入し、現在は双葉中学校2年生です。双葉町立学校では、

ふるさと創造学や地域芸能の体験学習、そして、ICTを活用したバーチャルふるさと遠足など、まだ足を踏み入れることができない双葉町内について、様々な手法で学べる機会があります。

今年の梅檀祭では、「地域に貢献する」というテーマで生徒が発表する機会があり、私は、いわき市内で営業を再開した双葉町内の事業者「ブイチェーンマルマサイわき錦支店」での就業体験を通して、住民の帰還や生活拠点について考える内容でプレゼンテーションを行い、先月行われた「ふるさと創造学サミット」では、地域拠点としての「道の駅」について提起しました。

将来の進路と故郷の復興

町立学校に通い故郷について触れる機会が多くなる中、復興まちづくりに興味を持つようになり、資料集めや読み込みなど、学校の授業で習うような基礎的な知識の必要性を感じています。また、様々なことへのチャレンジも続けており、8月に応募した読書感想文コンクールでは県代表に選ばれ全国審査に進んでいます。

この春、中学3年生になります。進路について考えなければならぬ時期となりますが、これまでの思いを形にできるよう、幅広くじっくりと学べる機会を目指して、一歩ずつ進んでいきたいと思っています。



ふたば写真館

～双葉町立学校・ALT～ (ALT…外国語指導助手)

町立学校のALT、アンソニー・バラード先生とフィリップ・ジェリーマン先生の写真館です。双葉町の懐かしい写真などを展示しています。



アンソニー先生【青い空と白い雪(双葉中学校校庭)】
(2010年2月2日撮影)



アンソニー先生【双葉中学校ボランティア活動】
(2010年8月28日撮影)

今月の表紙は、12月1日に上羽鳥観音堂の境内で行われた上羽鳥の奉納神楽の様子です。現在、双葉町教育委員会で行っている双葉町伝統芸能保存プロジェクトに賛同いただき、撮影させていただきました。上羽鳥の神楽は、この「鞠取り」などの余興があることが特徴です。鞠を見つけた獅子頭は鞠と戯れ、最後に鞠を飲み込んでいました。上羽鳥の獅子頭は雌の獅子頭で、神楽の舞も「おしとやか」であると上羽鳥親羽会の方に教えていただきました。

当日は、大銀杏は地面に舞っている状態でしたが、木に留まっていたら見事だろうということが想像できました。撮影日が決まってから、町内に入った時に大銀杏の様子を見て教えてくださる方がいました。植物や周りの風景が写真に入ると季節感が出せますが、意識しないと忘れがちになるため、今年は季節感の反映を意識した撮影を行うことを目標とします。

編集後記

今月のベストスマイル



12月1日に町内で行われた上羽鳥の奉納神楽で、左から松永万吉さん、木幡一夫さん、松永直人さんの笑顔です。

連絡先

○いわき事務所
〒974-8212
福島県いわき市東田町二丁目19-4

○郡山支所
〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20-2

○埼玉支所
〒347-0105
埼玉県加須市騎西36-1 加須市騎西総合支所2階

☎ 0246-84-5200
FAX 0246-84-5212
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120
✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

☎ 0480-53-7780
FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ
<http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>

携帯サイト

<http://www.town.fukushma-futaba.lg.jp/m/>

○双葉町公式ブログ「ブログふたばのわ」
<http://futabanowa.wordpress.com/>

○双葉町復興ポータルサイト

<http://www.futaba-fukkou.jp>

